

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	血液ろ過透析患者における脳出血の特徴の検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象は新潟大学脳神経内科に入院した症例で、脳出血と診断した症例のうち、血液ろ過透析を行っている方とそうでない方を対象とします。また、血液ろ過透析を行っている脳梗塞例も対照とします。年齢は 20 歳以上 99 歳以下です。2010 年から 2027 年までに入院した例を対象とします。
③ 概要	脳出血は、代表的な神経救急疾患です。脳梗塞に対する治療は大きく進歩していますが、脳出血の治療はいまだに血圧をさげるぐらいです。血液ろ過透析では、脳出血が多いといわれていますが、どういう方で出血しやすいかがわかっていないので、対策をとることも十分ではありません。 これまでの症例を後方視的に検討することで、どのような患者さんで脳出血を起こしやすいのかを明らかにすることで治療を改善させる可能性があります。
④ 申請番号	2024-0310
⑤ 研究の目的・意義	透析症例における脳出血例を後方視的に解析し、透析例の脳出血の特徴を明らかにする。これにて、脳出血合併を減少させられる可能性がある。
⑥ 研究期間	倫理委員会承認後～令和 9 年 3 月 31 日までの約 2 年間
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、検査結果、画像結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑦ 利用または提供する情報の項目	発症年齢、神経症状、血液データ、画像データ
⑨ 利用の範囲	新潟大学 脳神経内科
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	研究責任者 脳研究所 准教授 金澤雅人
⑪ お問い合わせ先	住所 新潟市中央区旭町通 1-757 新潟大学脳研究所 脳神経内科 電話番号 025-227-0666